年間授業計画　令和5年度　教科（数学）　科目（数学Ⅱ）
教科：（数学）科目：（数学Ⅱ）　対象：（第3学年）　単位数2
教科担当者：名前　原　直子　（印）
使用教科書　改訂版　新　高校の数学Ⅱ（数研出版）
使用教材　プリント

	指導内容 【年間授業計画】	科目　数学Ⅱ　の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月	指数関数・対数関数 1　指数関数 （1）指数法則 （2）指数の計算 （3）累乗根	初めての内容となる指数関数について理解し、それらの事象の考察に活用できるようにする。		24
5月	（4）指数の計算2 （5）指数関数のグラフ 中間考査			
6月	2　対数関数 （1）対数 （2）対数の性質 （3）対数関数のグラフ （4）常用対数	初めての内容となる対数関数について理解し、それらの事象の考察に活用できるようにする。		
7月	期末考査 答案返却・1学期の復習		定期考査の成績を主として、授業態度・意欲、提出物などへの取り組み等も評価の対象とする。	
9月	微分法と積分法 1　微分法 （1）平均変化率 （2）微分係数 （3）導関数	微分法について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。		28
10月	（4）導関数の計算 中間考査			
11月	（5）接線 （6）関数の増減 （7）関数の極大値・極小値 （8）関数の最大値・最小値			
12月	2　積分法 （1）不定積分 期末考査 答案返却・2学期の復習	積分法について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	定期考査の成績を主として、授業態度・意欲、提出物などへの取り組み等も評価の対象とする。	
1月	（2）不定積分の計算 （3）定積分	数学的なことに興味・関心を持って取り組む		18
2月	（4）定積分と面積 （5）面積の計算			
3月	学年末考査 答案返却・1年間の復習	数Ⅱの内容全般について、論理的に把握し、基礎的な計算力を身につけさせる。	定期考査の成績を主として、授業態度・意欲、提出物などへの取り組み等も評価の対象とし、すべてを総合的に判断して年間の評価とする。	

年間授業計画　令和5年度　教科（数学）　科目（数学Ⅱ）
教科：（数学）科目：（数学Ⅱ）　対象：（第4学年）　単位数2
教科担当者：名前　原　直子　（印）
使用教科書　改訂版　新　高校の数学Ⅱ（数研出版）
使用教材　プリント

指導	科目　数学Ⅱ　の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
式と証明・高次方程式　1、式と証明	数学Ⅰで学んだことを確認し、それらの事象の考察を発展させ活用できるようにする。		24
中間考査			
2、複素数と方程式	初めての内容となる複素数について理解し、それらの事象の考察に活用できるようにする。		
期末考査　答案返却・1学期の復習		定期考査の成績を主として評価する。加えて授業態度・意欲、提出物などへの取り組み等も評価の対象とする。	
図形と方程式　1、点と直線	座標や距離について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。		28
中間考査			
2、円	円の方程式について学び、事象の考察に活用できるようにする。		
期末考査　答案返却・2学期の復習		定期考査の成績を主として評価する。加えて授業態度・意欲、提出物などへの取り組み等も評価の対象とする。	
三角関数	数学的なことに興味・関心を持って取り組む。		18
	数Ⅱの内容全般について、論理的に把握し、基礎的な計算力を身につけさせる。		
学年末考査			
答案返却・1年間の復習		定期考査の成績を主として、授業態度・意欲、提出物などへの取り組み等も評価の対象とし、すべてを総合的に判断して年間の評価とする。	

年間授業計画　令和5年度　教科（数学）　科目（数学特論）
教科：（数学）科目：（数学特論）　対象：（第1、2、3学年）　単位数1
教科担当者：名前　原　直子　（印）
使用教科書
使用教材　プリント

	指導内容 【年間授業計画】	科目　数学Ⅱ　の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月	数列 1　数列とその和 （1）数列	初めての内容となる数列について理解し、それらの事象の考察に活用できるようにする。		12
5月	（2）等差数列			
6月	（3）等差数列の和			
7月	（4）等比数列		授業態度・意欲、提出物などへの取り組み等を評価の対象とする。	
9月	（5）等比数列の和	数列について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。		14
10月	（6）和の記号Σ			
11月	（7）階差数列			
12月	2　漸化式と数学的帰納法 （1）漸化式と一般項		授業態度・意欲、提出物などへの取り組み等を評価の対象とする。	
1月	（2）数学的帰納法	数学的なことに興味・関心を持って取り組む		9
2月	ベクトル 1　平面上のベクトル	初めての内容となるベクトルについて理解し、それらの事象の考察に活用できるようにする。		
3月			授業態度・意欲、提出物などへの取り組み等を評価の対象とし、すべてを総合的に判断して年間の評価とする。	